

特別支援学級（Ⅲ部）

学びのカテゴリー「進路・余暇」



8年4組は、中学卒業後の生涯の生き方について見通しをもち、進学先（高等特別支援学校、特別支援学校高等部）や就労支援事業所（A型・B型）を調べる活動を通して、自分の進路を具体的にイメージすることができた。宿泊研修では、特例子会社で働く人の様子を見たり、キッザニア甲子園で働く体験をしたりすることで、やりがいをもって働いていることや働いてお金を得ること、そのお金で好きなことができることを学んだ。

9年4組では、一人一人が休みの日に行っている自分の好きなことを交流した。自分の好きなことを仲間に聞いてもらえてうれしそうであった。また、仲間の好きなことをみんなで体験した。「音楽を聴くこと」が多かったので、好きなアーティストや曲を紹介し合って聴いた。動画をみながら「体操・ストレッチ」をしたり、「競馬」が好きな仲間に教えてもらいながら、レースの予想をしたりした。初めての体験を楽しむ様子も見られた。



新居 豊子
平野 和俊

8年4組

年間指導計画

「学びの 카테고리」：進路・余暇（全105時間）

特別支援学級 第8学年の目標	(1) 問題解決力に関わって 自分の願いをもち、願いの実現に向けて、自分で考えて行動することができるようにする。															
	(2) 関係構築力に関わって 願いの実現に向けて仲間と一緒に活動に取り組み、よりよい方法を見つけて行動することができるようにする。															
	(3) 貢献する人間性に関わって 自分と社会とのつながりを実感し、生活に生かそうとする態度を養う。 人とつながって生きていることに気づき、社会の一員として何ができるかを考えて行動する態度を養う。															
カテゴリ設定の理由	職業生活に必要な自己理解（得手不得手や特性など）を深めたり、自分の適性に気付いたりすることができるようにする。職業体験や職場見学等を通して、やりがいや充実感、達成感を感じるとともに、職業の意義を知り、将来を見通した進路を考えることができるようにする。様々な余暇活動を仕組み、仲間と一緒に活動することを通して、興味を広げたり、自己選択や自己決定をしたりすることができるようにする。															
学びの基盤となる道徳的諸価値	自主、自律、自由と責任・節度、節制・向上心、個性の伸長・希望と勇気、克己と強い意志・思いやり、感謝・礼儀・友情、信頼・相互理解、寛容・遵法精神、公德心・勤労・よりよく生きる喜び															
学びを構成する要素	人（自分、仲間、先輩・後輩、先生、住んでいる地域の人々、事業所の方々） 長所 短所 休日の過ごし方 夢 進路 特別支援学校 高等特別支援学校 施設利用 社会人 貢献 マナー お金 やりがい 喜び															
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
単元名 (時数)	「働く」とは？ 「進路」とは？ 好きなものを買おう・行きたいところは？ (25) (10)					特別支援学校・就労事業所に行こう 職業体験をしよう (40) 「自分」とは？ ～何が得意？何が好き？～ (10)				自分の進路を考えよう (20)						
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 身近な職業や仕事内容を調べる。 職場見学する会社や体験したい職業について、調べる。 職場見学をし、働く人の様子を見たり、質問をしたりする。 いろいろな職業を体験する。 見学のまとめをする。 大阪(土産、観光地)を調べる。 				<ul style="list-style-type: none"> 中学校卒業後の進路を知る。(特別支援学校・就労) 高等特別支援学校や特別支援学校高等部について知りたいことを整理する。 それぞれの学校を調べる。 就労(種類、雇用など)について知る。 就労事業所を調べる。 				<ul style="list-style-type: none"> 調べた特別支援学校や事業所の行き方を調べる。 特別支援学校や事業所の見学をしたり体験をしたりする。 さらに体験したい事業所を調べ、見学をする。 どんな活動をしていきたいか願いをもつ。 職業の体験を繰り返し行い、よりよい方法を考えて取り組む。 自分の好きなことや得意なことを考える。(他者評価) 友たちから見た自分のよいところを知る。 				<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返り、まとめをする。 自分の得手不得手や特性、今までの学習から、進路を考える。 9年生で学びたいことを考える。 			
想定される ●ジレンマ ■エラー 【道徳的諸価値】	<ul style="list-style-type: none"> なぜ働くのかな。 働くってどういうこと？ どんな仕事があるの？ ■将来の夢がない。 【節度、節制・思いやり、感謝・勤労】				<ul style="list-style-type: none"> 中学校卒業後の自分は？ 自分で自分の道を決めるんだ。 それぞれの特別支援学校に特徴があるな。 就労A型とB型では、働き方に大きな違いがあるな。 ●自分の道を決めることができるかな。不安だな。 【自主、自律・向上心、個性の伸長】				<ul style="list-style-type: none"> やってみたいことが見つかりそうだな。この活動(仕事)は苦手かもしれないな。 他の事業所の活動を知りたいな。 働く上で何を大切にしていけばよいのだろう。 今の自分にできることは何だろう。働くために今自分にとって必要なことは何だろう。 人に喜んでもらえるためにはどうすればよいのだろうか。 自分の好きや得意を伸ばしたり増やしたりするには、どうしたらいいんだろう。 ■あんなふうに働くことができるかな。 ■働くときに大事にしていることが、今の自分ではできていないな。 ■自分の思っていた仕事内容とちよつと違う。 ■失敗した。どうしよう。同じようにやっているのに、上手くいかない。 ●みんなは〇〇の方がいいって言ってるけど、△△の方がいいと思うんだけどな。 【自由と責任・向上心、個性の伸長・礼儀・相互理解、寛容・社会参画、公共の精神・勤労】				<ul style="list-style-type: none"> 4月の自分と比べると、考え方が変わったな。成長したな。 9年生になったら〇〇学校に見学に行きたい。 将来〇〇の仕事をしたい。〇型事業所で働きたい。 9年生になったら、さらにこんなことをしたいな。 【希望と勇気、克己と強い意志・友情、信頼・遵法精神、公德心・社会参画、公共の精神・よりよく生きる喜び】			
人材活用施設	<ul style="list-style-type: none"> 家族、地域の店 学校職員 研修先の会社 				<ul style="list-style-type: none"> 学級の仲間、上級生の仲間 卒業生 家族 				<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校生徒、事業所、公共交通機関 学級の仲間、学校の仲間、学校職員 家族、地域の店 				<ul style="list-style-type: none"> 家族 学級の仲間、学校職員 			
教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> 国語：敬語 インタビューをしよう 新聞の書き方 数学：お金を使おう 家庭科：買い物 				<ul style="list-style-type: none"> 国語：手紙の書き方 生活単元：情報の扱い方 				<ul style="list-style-type: none"> 国語：ていねいな言葉 伝え方の工夫 接客の仕方 数学：お金 かさ 美術：環境づくりをしよう(看板・チラシ・メニュー表など) 家庭科：買い物 生活単元：公共交通機関を使おう 				<ul style="list-style-type: none"> 国語：話し方、聞き方 伝え方の工夫 生単：発表の仕方を考えよう(プレゼン) 			

8年4組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
単元名 特別支援学校・就労支援事業所に行こう 職業体験（喫茶・清掃・ものづくり等）を しよう (40)		就労支援事業所の見学をもとに、校内で働く体験をする中で、自分の課題と向き合ったり、よりよい活動の仕方を考えたりしながら、活動に取り組むことができるようにする。	特別支援学校や就労支援事業所の活動をもとに、仲間と一緒に活動をしたり、詳しい人に質問したり、よりよい方法を話し合ったりしながら、相手のことを考えて活動することができるようにする。	就労支援事業所の見学や働く体験をもとに、どのような仕事にもやりがいや達成感があることに気付き、自分の得意を生かして働くよさを実感し、働き続ける人になる態度を養う。
活動の計画	<ul style="list-style-type: none"> ○調べた就労支援事業所（A型・B型）について、交流する。 ○見学する就労支援事業所を話し合っ決めて。 ○見学する就労支援事業所や特別支援学校の行き方を調べたり、電話でアポイントを取ったりする。 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○見学する就労支援事業所や特別支援学校について、知りたいことや質問したいことを考える。 ○就労支援事業所や特別支援学校の見学や体験をする。 ○見学や体験をしたことをまとめ、交流をする。 ○さらに見学したい就労支援事業所を決める。 (15)	<ul style="list-style-type: none"> ○見学した就労支援事業所や特別支援学校の活動の中から、体験したい活動を話し合う。 ○活動の基本的な手順や方法を調べ、活動の願いをもつ。 ○活動（仕事）を繰り返し行う。 ○気付いたことや感じたことを交流し、よりよい方法を話し合い、実践する。 (22)	
加筆修正欄				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> ・作ることが好きだから作る事業所を見学したい。 ・接客のときに大切なことを知りたいな。 ・教室掃除で褒められたことがあるから、掃除のことを勉強したい。 ・行きたい人が多いところから、見学に行こう。 ・A型もB型も、どちらも見学に行きたい。 ・電話で話すときに気を付けることは何だろう。練習してから、電話をかけよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに仕事する様子が載っていたから、実際にどんな風にやっているのかを知りたいな。 ・仕事をするときに大切なことを質問しよう。 ・学校の作業で気を付けていることが、働くときの力になるんだ。 ・どこの事業所でも挨拶と返事が大事だと言っていた。今から挨拶や返事をやっしていこうと思う。 ・次は、違う職種の事業所に行きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内で、どんな活動（喫茶・清掃・袋詰め等）ができるだろう。やってみたいこと、得意なこと、好きなことで、活動を決めていいのかな？ ・自分が決めた目標（挨拶、返事、集中、最後まで、粘り強く、協力等）に向かって、活動しよう。 ・事業所見学で学んだことをやってみよう。うまくいかないときは、みんなと相談してよい方法を見つけたい。 ・働くって大変。でも、やりがいはある。 	
実際の姿				
■ ● エラー ジレンマ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊張して、上手く電話ができなかった。 ● 行きたい事業所が、みんな違う。どうやって決めていくと、みんなが納得できるかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ あんなふうに働くことができるかな。 ■ 働くときに大事にしていることが、今の自分ではできていないな。 ● 自分の思っていた仕事内容とちょっと違う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 失敗した。どうしよう。 ■ 同じようにやっているのに、上手くいかない。 ● みんなは○○の方がいいって言ってるけど、△△の方がいいと思うんだけどな。 	

8年4組 本時案

(1) 目標

窓拭きの活動を振り返り、よりきれいにできるポイントを考える話し合い活動を通して、就労支援事業所の見学や活動経験者のアドバイスを基に、窓拭きの活動の自分や仲間のよい点や改善点に気付いたり、よりきれいにできるポイントを考えたりすることができる。(問題解決力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

自分の体験活動の姿から、得意や苦手を知り、ありのままの自分を受け止め、理解する。(個性の伸長)

働くことや学校のために奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、よりよい方法を考える。(社会参画、勤労)

本時 (23/40)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け	
	A (女)・B (男)・C (男)	D (男)・E (男)
<p>1 前時までの窓拭きの活動を振り返り、本時の見通しをもつ</p> <p>○窓拭きをやってみて、感じたことや思ったことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓がきれいになって、嬉しかった。違う場所の窓もきれいにしたい。 ・窓拭きのやり方が分かって、手際よくできるようになってきた。 ・スクイジーを使うのが難しかった。高いところや最後の円を描くのがうまくできなかった。 ・○○さんがやった窓がとってもきれいだった。どうやったら、あんなにきれいにできるのか教えてほしい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>よりきれいにできる窓拭きのポイントを見つけよう。</p> </div> <p>2 窓拭きを行い、よい点や改善点などを見つけ合う</p> <p>○順番に窓拭きを行い、よい点や改善点を見つけ、伝え合おう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【態度面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端までを意識していた。 ・最後まで集中していた。 ・道具を大切に扱っていた。 ・報告するとき、もっと大きな声で言った方がいい。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【活動面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクイジーを真っ直ぐ動かしていた。 ・円を描くときに、角を動かさない方がいいと思う。 ・水を切る際、流れる水がスクイジーの両側の人と片方だけの人がいた。どうしてかな。 </div> </div> <p>3 就労支援事業所の見学や経験者のアドバイスから、よりきれいにできる窓拭きのポイントを考える</p> <p>○見学時の様子や、仲間や経験者のアドバイスから、よりきれいにできる窓拭きのポイントについて考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクイジーの使い方 (持ち方、斜めにする、円の描き方) に気を付ける。 ・力の入れ方を考える。雑巾で窓枠の水気をしっかりとる。 <p>4 本時の活動を振り返り、次時の活動への見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ではできてると思ってたけど、もっときれいにできるポイントが分かった。 ・事業所の見学や今日の友だちからのアドバイスで、自分のよい所と改善点があった。次の活動の時に、やってみたい。 	<p>○各自が立てた「働く人になるための目標」を掲示する。</p> <p>○窓拭きの様子が想起できるように、写真や動画を提示する。</p> <p>○頑張りを価値付けたうえで、困難さや課題点が言えるように、切り返しの発問をする。</p> <p>○一緒に活動した仲間の頑張りが伝えられるように、発問をする。</p> <p>○見る視点を明確にするために、振り返りから要点を押さえたり、特別支援学校の見学時のまとめを提示したりする。</p> <p>○よい点だけでなく改善点を見つけることの大切さを伝え、改善点を伝える姿を価値付ける。</p> <p>○態度面と活動面が分かるように、板書をする。</p> <p>○就労支援事業所や特別支援学校の見学で学んだこととつなげて発言をしたり、新しい視点から仲間のよい点や改善点を伝えたりする姿を褒め、価値付ける。</p> <p>○就労支援事業所見学の様子の写真や経験者のアドバイスの動画を提示する。</p> <p>○経験者の窓拭きとの違いが分かるように、スクイジーの使い方に注目するよう伝えたり、実際に動かしたりする場を設定する。</p> <p>○よりきれいにできる窓拭きのポイントが分かり、次時に実践できるように、板書をする。</p>	<p>○頑張りや困難さを自分の言葉で伝えられるように、資料の指差しや発問をする。</p> <p>○仲間からの言葉を聞いて感想を伝える場を設定する。</p> <p>○よい点や改善点が見つけられるように、具体的な姿を伝えたり質問をしたりする。</p>
	<p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>窓拭き活動を振り返り、話し合ったことをもとに、自分や仲間の窓拭きのよい点や改善点に気付いたり、よりきれいになるポイントを考えたりしようとしている。(問題解決力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言内容や本時の窓拭き活動の様子、話し合い活動の様子から見届ける。 	

9年4組

年間指導計画

「学びのカテゴリー」：進路・余暇（全105時間）

特別支援学級 第9学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		自分の目指す姿を決め、願いをもって活動に取り組むことができるようにする。 願いの実現に向けて試行錯誤し、よりよい自分になるために自己選択をして、行動することができるようにする。										
	(2) 関係構築力に関わって		願いの実現に向けて仲間と一緒に活動に取り組むことができるようにする。 仲間と共に活動に取り組む意義を感じながら、相手や場面に相応しい言動をすることができるようにする。										
	(3) 貢献する人間性に関わって		体験的な学習を通して、自分と社会とのつながりを実感し、自分の生活に生かそうとする態度を養う。 お客さんや社会で生活する人々の役に立つために、意欲的に活動に取り組もうとする態度を養う。										
カテゴリー設定の理由	卒業後の進路先について調べたり、職業について調べたりすることで、自分の進路について見通しをもつ。その中で興味をもった職業について体験することで、働くことの意義や、やりがいを学んでいく。また、仲間と一緒に様々な余暇活動を行うことを通して、自分の好きな時間を有意義に過ごす楽しさも味わっていく。ときには身近な人と相談しながら、自己選択、自己決定することを通して、自分の将来の生き方を考えていく。												
学びの基盤となる道徳的諸価値	自主、自律、自由と責任・向上心、個性の伸長・希望と勇気、克己と強い意志・思いやり、感謝・友情、信頼・節度、節制・遵法精神、公德心・社会参画、公共の精神・勤労・よりよく生きる喜び												
学びを構成する要素	人（自分、仲間、先生、高等部の先生、卒業した先輩、事業所の方） 夢 進路 休日の過ごし方 附属小中学校 進路先の学校 貢献 やりがい 長所 短所 喜び 困難 社会人として マナー お金 施設利用												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単元名 (時数)	今後の進路を考えよう (20)					働くって、どういうこと? (40)					これまでの自分 これからの自分 (20)		
	何して過ごす? (25)												
主な学習活動	○進路先について、パンフレットやインターネットを使って調べる。 ○学校見学会を通して進路先について自分の目で見る、自分の耳で聞く。 ○高等特別支援学校、高等部の生活に見通しをもつ。 ○学校生活や学習内容で附属小中学校と同じことや異なることを見付ける。 ○本人や保護者と相談しながら、進路先の学校を決めていく。 ○障がい者雇用に関する積極的な企業を見学し、卒業後の働く様子について学ぶ。		○春休みやGWにどんなことをして過ごしたのか交流する。 ○個々の休みの日の過ごし方や好きなこと（趣味）を交流する。 ○交流したことをもとに、一人一人の趣味をみんなで体験する。 ○夏休みにしたいことをまとめ、計画を立てる。			○これまでの進路先見学や教育相談で聞かれたこと等を振り返った上で、今後の進路について、確認する。 ○特別支援学校高等部や高等特別支援学校卒業後に働く事業所について調べる。 ○学校の周りにある事業所では、どんな仕事をしているのか調べたり、実際に見学したりする。 ○「働く上で大切なこと」を交流してまとめる。 ○「働く人」になるための目標を立てる。 ○興味や関心をもった事業所で職場体験する。 ○職場体験後、「働く人」になるための目標に対する振り返りをし、「働く人」になるための目標を再設定する。 ○前回は異なる事業所で職場体験を行う。 ○職場体験を終え、「働く上で大切なこと」を再構築する。			○他の学級の仲間や先生たちはどんなふうに着替えているのか調べる。 ○体験してみたい活動を順番に体験する。 ○校外での活動になる場合は、活動場所までの行き方や内容について仲間と一緒に考える。また、公共交通機関を使い、活動場所まで移動し、仲間と一緒に活動する。 ○土日の休みにどんなことをして過ごしているのか交流する。 ○冬休みにしたいことをまとめ、計画を立てる。			○これまでの活動での自分の成長を振り返る。 ○高等部や高等学校に行くまでに、どんな自分になりたいか目標を立てる。 ○卒業までの残り期間、毎日自分の姿を振り返る。 ○これまでお世話になった方へ感謝の気持ちをどう伝えるか交流する。 ○先輩に伝えたい思いを整理する。 ○先輩に自分たちの思いを発表する。	
想定される ●ジレンマ ■エラー 【道徳的諸価値】	■自分の進路先になる学校は、どんな学校なのか分からない。 ■将来の仕事は先のことよく分からない。 ■聞きたいことをどうやって聞くといいのかわからない。 ●どの学校が自分に合うのだろうか。 【・自主、自律、自由と責任・節度、節制・向上心、個性の伸長・希望と勇気、克己と強い意志・思いやり、感謝など】		■自分の趣味をみんなにどう伝えようか分からない。 ●みんなで遊びたいけれど、ルールを知らない仲間がいる。 【・節度、節制・思いやり、感謝など】			■どこで職場体験をすればよいか分からない。 ■どんな仕事内容があるのか調べても分からない。 ■注意されたとき、どう対応していいかわからない。 ●やりたい気持ちはあるけど、なかなか上手でできない。 【・自主、自律、自由と責任・向上心、個性の伸長・希望と勇気、克己と強い意志・社会参画、公共の精神・勤労など】			■他の仲間や先生たちはどんなふうに着替えているのかわからない。 ■活動場所までどうやって行けばいいのかわからない。 ●これを買いたいけどお金が足りないな。 ●【節度、節制・友情、信頼・遵法精神、公德心・社会参画、公共の精神など】			■自分のできるようになったことをどうやって伝えるといいかわからない。 ●自分は先輩に向けて～を引き継いでいきたいと思っているけど、仲間は違うことを思っているみたいだ。 【希望と勇気、克己と強い意志・思いやり、感謝・よりよく生きる喜びなど】	
人材活用施設	・高等部のことを知っている身近な先生 ・附属小中学校を卒業した先輩 ・進路先の学校の先生 ・障がい者雇用を推進している企業の方		・学級や4組の仲間 ・先生 ・図書館 ・商業施設			・4組の仲間 ・事業所の方 ・実際に事業所で働く方 ・地域の事業所			・学級や4組の仲間 ・先生 ・図書館 ・商業施設			・4組の仲間 ・お世話になった先生 ・附属小中学校の校舎	
教科等との関連	・国語：話し方、聞き方 メモの取り方 見てきたことを話す まとめ方（レポートに）		・国語：その日の出来事を振り返ろう 分かりやすく説明しよう ・数学：数と数量 ・体育：ゲーム運動			・国語：相手に応じた話し方、聞き方 体験したことをまとめよう 手紙の書き方（お礼） ・数学：数を数える 計量の仕方 ・家庭科：正しい服装 衛生（水の入れ方、机のふき方） 正しい掃除の仕方			・国語：話し方、聞き方 ・数学：お金の計算			・国語：話し方、聞き方 手紙の書き方 ・数学：まとめ方（プレゼン）	

9年4組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
単元名 何して過ごす？ (25)		自分が楽しんだり、仲間と一緒に楽しんだりするという願いの実現に向けて、進んで行動したり、意思決定したりできるようにする。	仲間の趣味に耳を傾け、共に体験し、仲間の好きな過ごし方を認めることができるようにする。また、仲間と一緒に楽しむためにはどうすればよいか考え、実行できるようにする。	自分の好きな過ごし方を再認識したり、新たな過ごし方のよさに気が付いて取り入れたりする態度を養う。
活動の計画	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が休みの日や放課後、長期休業中などに行っていることを振り返る。 ○「趣味トーク」をして、仲間に自分の好きなことを紹介する。 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○紹介された過ごし方を順番に全員で体験する。 ○クラスの仲間以外の身近な人（家族や先生、他の学級の生徒など）は、どのように過ごしているのか、どんなことが好きなのか調べる。 (8) (できそうな内容) ・電車・カードゲーム・ブロック・調理 ・登山・キャンプ・ゴルフ・サッカーなど	<ul style="list-style-type: none"> ○調べた内容について、体験してみたい内容を順番に体験する。 ○仲間と一緒に楽しめる活動を相談し、計画を立てる。 ○計画した内容に沿って活動を体験する。 (12)	<ul style="list-style-type: none"> ○体験した活動について写真などを見て振り返り、自分の余暇の過ごし方について改めて考えたりまとめたりする。 (3)
加筆修正欄	※挙げられた趣味 ・音楽鑑賞・アニメ・ゲーム ・Youtube・競馬・折り紙 ・サッカー観戦・ストレッチ ・スイミング・ランニング ・工作・絵を描く・SNS ・家族とドライブ、買い物 等			
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> ・僕はこんなことをして過ごしているよ。こんなことが好きだよ。 ・〇〇さんの好きなことっておもしろそうだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてやってみただけどおもしろいな。 ・僕の好きなこともみんなに体験してみたいな。 ・他にどんな過ごし方があるのか知りたいな。 ・〇〇さんの好きなことをやってみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分一人で楽しむ活動もいいけど、みんなでも楽しむ活動もしてみたいな。 ・みんなで出かけて楽しみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんがよくやっている活動を最近僕もやっているよ。 ・今度、友達を誘って〇〇をしてみたいな。
実際の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんがストレッチは好きっていうことを初めて知った。 			
● エレンマ	<ul style="list-style-type: none"> ■自分の趣味をみんなにどう伝えると楽しさが伝わるか分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■他の仲間や先生たちはどんなふうに過ごしているのか知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなで遊びたいけれど、ルールを知らない仲間がいる。 ■活動場所までどうやって行けばいいのか分からない。 	

9年4組 本時案

(1) 目標

「おもしろたこ焼き作り」で、たこ焼きを自分で作ったり、仲間と一緒に食べたり、何が入っているかを考えたりする活動を通して、感じたことを伝え合いながら、あらためて自分を知ることができるようにする。(問題解決力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

自分の好きなことに気が付いたり、好きなことの幅を広げようとしたりする心情を育む。(個性の伸長)
仲間と協力して作ったり、仲間と一緒に食べたりするよさを感じる。(友情)

本時 (18/25)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け		
	B (男)、E (男)、F (男)	A (男)	C (女)、D (女)
<p>1 前時に計画したことを振り返り、本時の活動を確認する</p> <p>○前回、実際にたこ焼きを作ってみました。今日はお楽しみの具材を入れて食べてみるよ。 ・前回作ったたこ焼き、おいしかったな。今回も楽しみだな。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>おもしろたこ焼き作りを体験してみよう。</p> </div> <p>2 ペアで一緒にたこ焼きを作る (※A・Eのペア、B・Cのペア、D・Fのペア)</p> <p>○この前作ったたこ焼きの作り方を確認しながら、2人で協力して作るよ。 ・僕は生地を混ぜるから、○○さんはホットプレートに入れてね。 ・具材は2人で入れて、2人でひっくり返すこともやろう。</p> <p>3 作ったたこ焼きを食べ、ペアで具材を当て合う</p> <p>○それぞれのチームのたこ焼きを食べてみましょう。～チームのたこ焼きには何が入っていましたか。 ・何が入っているのかな。ドキドキするな。 ・これは梅干しだな。すっぱいな。 ・これは何の味だろう。よく分からないな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>具材案 梅干し・キムチ・ポテトチップス チョコ・あんこ・マシュマロ など</p> </div> <p>4 片付けをする</p> <p>5 体験してみて感じたことを交流する</p> <p>○おもしろたこ焼き作りを体験して、どんなことを思いましたか。 ・今度は友だちを誘って家でもやってみたいです。 ・仲間と一緒に作って、ドキドキしながら食べて楽しかったです。 ・ホットプレートで違うものも作ってみたいです。 ・前回の普通のたこ焼き作りと違って、何が入っているのか当てるのが楽しかったです。 ・何が入っているのが分からないのは少し心配でした。</p>	<p>○前時のたこ焼きづくりの様子を写真で振り返り、「おいしかった」「楽しかった」という気持ちを思い起こさせる。</p> <p>○前時計画を立てた具材のリストを示し、そのうち3種類を今回使うことを伝える。</p> <p>○前時に使用した調理手順を示した掲示を示し、作り方を簡単に確認する。</p> <p>○仲間と協力してたこ焼きづくりができるように、2人一組のペアでひとつのたこ焼き器を使い、具材が見えないよう分かれて作る。</p> <p>○進んで割り振りをしたり、ペアの子にやり方を教えたり、手伝ったりする姿を価値付ける。</p> <p>○進んで準備をしたり動いたりする姿を価値付ける。</p> <p>○安全に気を付けて調理ができるよう見届ける。必要に応じて教師と一緒に取り組む。</p> <p>○どのチームがどのたこ焼きを作ったか分かるように皿に分ける。</p> <p>○ペアで相談しながら答えを出している姿を価値付ける。</p> <p>○「仲間と一緒に体験して」という視点でも振り返るよう促す。</p> <p>○「楽しかったです。」とだけ答えるときには、「どんなことが？」と切り返して質問する。</p> <p>○なかなか感想を話せないときには、「作るのは楽しかった？」など視点を絞ったり、YesかNoで答えられる質問をしたりする。</p> <p>○やってみてうまくいかなかったことや心配だったこと、あまり楽しみではなかったことなどもあれば聞き出す。</p>	<p>○安全に気を付けて調理ができるよう見届ける。必要に応じて教師と一緒に取り組む。</p> <p>○「楽しかったです。」とだけ答えるときには、「どんなことが？」と切り返して質問する。</p> <p>○なかなか感想を話せないときには、「作るのは楽しかった？」など視点を絞ったり、YesかNoで答えられる質問をしたりする。</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>自分で作ったり、仲間と食べたり、当て合ったりすることを楽しんでいる。また、体験してみて思ったことを伝えている。(問題解決力)</p> <p>・体験時の様子や振り返りの言葉で見届ける。</p> </div>		